

# 日本研究・知的交流事業に必要な経費

## 日米市民対話推進費

### 1. 人物交流事業費

- (1) 日米センターNPOフェローシップ
- (2) 市民交流支援（日米草の根交流コーディネーター派遣／JOI）

### 2. 催し等事業費

- (1) 市民交流支援（市民交流／教育アウトリーチ支援・助成）
- (2) 市民交流・教育アウトリーチ支援（助成）：  
ニューヨーク日米センター小規模助成（教育アウトリーチ：南部・中西部特別助成）
- (3) 市民交流・教育アウトリーチ支援（助成）：  
ニューヨーク日米センター小規模助成（教育助成）

## 人物交流事業費 (1)日米センターNPOフェローシップ

日米間の架け橋となり国際的に活躍できる次世代の人材の育成と、日米両国の非営利セクター間の相互理解の促進とネットワークの拡大強化、国内の非営利セクターの人的基盤強化を目的として、日本の民間非営利セクターに従事する中堅層に、米国のNPOでの中長期の現場経験を通じ、非営利組織のマネジメントに関する研修を行う機会を提供する。

合計額 22,645,635 円

	事業名	現職	受入団体	期間	事業内容
1	土井 香苗	ヒューマンライツ・ナウ事務局員	Human Rights Watch	06.09.01～ 07.06.30	弁護士を中心とする人権NPOの資金基盤、人材基盤及びアドボカシー手法
2	石川 えり	特定非営利活動法人難民支援協会事務局長代行	International Rescue Committee	07.01.21～ 07.05.20	難民支援NGOにおけるプロジェクト・マネジメント
3	鮎川 葉子	エイズを伝えるネットワークTENCAI代表	Men's Resource Center for Change	07.03.22～ 07.09.21	ネットワーク型非営利組織が、専門機関の連携を実現させるために必要な条件と課題整理を、米国の事例から学ぶ
4	鈴木 歩	シーズ＝市民活動を支える制度をつくる会事務局次長	United Way of Central Indiana	07.08.15～ 08.05.14	ファンドレイジングを実践するための組織運営のあり方を米国の非営利セクターに学ぶ
5	棚田 雄一	社団法人セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン事業部長	Save the Children USA	07.09.01～ 08.02.28	緊急援助における米国のNPOオペレーション上のスタンダードや安全管理の実務的理解
6	藤原 航	市民社会研究所研究員	Common Ground Community	07.10.01～ 08.06.30	自立的なNPOセクターの環境整備に関して

## 人物交流事業費 (2)市民交流支援（日米草の根交流コーディネーター派遣/JOI）

日本との交流の機会が比較的少ない地域における対日関心の喚起や日本理解の促進、および、草の根交流の担い手育成を目的に、ボランティアとして草の根交流のコーディネーターを米国に派遣する。コーディネーターは、主に米国南部の日米協会や大学等の地域交流活動の拠点に配置され、学校やコミュニティで、日本の文化、社会、生活、日本語に関する知識や情報を提供し、また日米交流を深めるための活動を展開する。

合計額 33,525,196 円

	氏名	受入団体	派遣期間
1	安藤 良子	ダラス/フォートワース日米協会	2005.8～2007.7
2	田中 美樹	南部多文化センター	2005.8～2007.4
3	村田 有紀子	コスタル・カロライナ大学	2005.8～2007.7
4	小島 祥子	アラバマ日米協会	2006.8～2008.7

## 日米市民対話推進費

	氏名	受入団体	派遣期間
5	織田 美千子	ベサニー大学	2006.8～2008.7
6	木谷 公子	モリカミ博物館	2006.8～2008.7
7	山田 悠花子	クロフト・インスティテュート・フォー・インターナショナル・スタディーズ	2007.8～2009.7
8	西脇 笑子	ウェスタン・カロライナ大学	2007.8～2009.7
9	松下 佐智子	メンフィス大学国際プログラム&サービスセンター	2007.8～2009.7
10	山崎 和子	ハリファックス公立学校区	2007.8～2009.7
11	増田 環	サンアントニオ日米協会	2007.8～2009.7

催し等事業費	(1)市民交流支援（市民交流/教育アウトリーチ支援・助成）
--------	-------------------------------

日米両国の市民が、対話を積み重ね相互理解を深めていくこと、また、共通の課題への共同の取り組みを通じて世界に貢献していくことを期待し、その趣旨に合致した草の根レベルの交流プロジェクトや一般市民への知識の普及活動を支援する。

合計額 26,843,756 円

	事業名	助成団体	期間	事業内容
1	日系移民をテーマとした米国理解教育の教材開発と教員研修－多文化教育とグローバル教育のインターフェイス－（2年計画事業の2年目）	多文化社会米国理解教育研究会	07.04.12～ 08.06.30	日系移民をテーマとした教材開発と教員研修を通して米国理解を深めることを目的とするプロジェクト。1年次には、国内外調査を実施し、日系移民に関する理解を深め、トランクキット教材を開発の上、授業で使用し、『指導の手引き』を作成。2年次には、トランクキットと『指導の手引き』を活用した教員研修会を開催し、報告書を作成
2	米国教育NPOの役割～「対立解決教育」を通して	特定非営利活動法人 開発教育協会	07.04.01～ 08.03.31	日本の教育NPOの活性化を目的とし、より効果的な組織のあり方や事業の取り組みを学ぶため、米国の教育NPOの先駆的な事例を日本のNPOや教育関係者に紹介。ニューヨーク市のNPOであるESR Metro（NPOフェロー受入先）から代表を招き、意見交換会、シンポジウムを実施
3	米国人権NPOのアドボカシー手法調査及びネットワーク形成プロジェクト	ヒューマンライツ・ナウ	07.04.16～ 07.09.30	米国から特に国際社会におけるアドボカシーの在り方を学び、日米の人権NPO間のネットワークを形成するプロジェクト。被招へい者が、東京・大阪で、意見交換会・講演会・シンポジウムに参加し、知見を提供

	事業名	助成団体	期間	事業内容
4	第59回日米学生会議	財団法人 国際教育振興会	07.05.01～ 08.03.31	「太平洋から世界へ～グローバルパートナーシップの探求と次代の創造～」というテーマのもと、日本側36名、米国側36名が、東京、秋田、広島、京都の四都市を巡り、意見交換を実施。分科会のテーマは、開発、メディア、暴力と平和、教育、ナショナリズム、アイデンティティ、文化の7つ。各訪問先で、シンポジウムを実施し、1カ月の成果を発信
5	HIV/AIDSの治療や予防に取り組む人々の日米草の根交流プロジェクト（2年計画事業の2年目）	パブリック・ヘルス・インスティテュート	07.11.01～ 08.10.31	日米でHIV/AIDSの治療や予防に取り組む、研究者や実践者たちによる2年間の交流事業。日米の研究者とNPO関係者等実践者の知見の交換を実施
6	環境教育パートナーシップ	ミシガン州立大学	07.05.01～ 07.11.30	2007年の夏に合計29日間の日程で、日米の教員と学生計34名が互いの文化に対する関心を高めるため、相互に相手国を訪問。環境保護プログラム見学や実験・実習を共に重ね、ホームステイや事前・事後学習も実施
7	「日本史をイメージする」教材開発・普及事業（2年計画事業の2年目）	コロラド大学ボルダー校	08.03.01～ 09.02.28	中等教育レベルを対象とした日本に関する教材開発・普及事業。世界史のナショナル・スタンダードに合わせ、歴史と社会科のカリキュラムに芸術史を組み込み、世界史の授業で使用可能な教材を開発。日本の6つの時代（平安、中世、徳川、明治、20世紀初頭、戦後）のアートが対象
8	ライシャワー奨学プログラム（2年計画事業の2年目）	スタンフォード大学（SPICE）	07.09.01～ 08.08.31	全米から25名の高校生（11・12学年）を募り、専用ウェブサイトを用いて日本や日米関係に関する学習機会を提供する遠隔地教育事業。生徒は、日米各界で活躍する人物による日本の歴史、文学、宗教、美術、政治、経済等に関する講義の聴講、質問・意見等を交換するディスカッションボード、定期的に課される宿題、オンライン上の相互交流を目的としたバーチャル・クラスルーム、論文作成等を実施

催し等事業費 (2) 市民交流・教育アウトリーチ支援（助成）：ニューヨーク日米センター小規模助成（教育アウトリーチ：南部・中西部特別助成）

合計額 8,379,587円

	事業名	団体	事業内容	期間
1	芸術が花開く	ブラック・マウンテン・センター・フォー・アーツ（ノース・カロライナ）	地域のアーティストを巻き込みながら、学校を含む複数の会場において、日本の伝統文化を幅広く紹介する事業	07.05.01～ 07.07.31
2	日本フォーラム	アニメイズメント2007（デラウェア）	日本のアニメ・マンガに焦点を当てた中高生向けの日本語・日本文化フォーラムの開催	07.05.01～ 07.06.30

日米市民対話推進費

	事業名	団体	事業内容	期間
3	アジア美術に関する 教員トレーニングと 教材作成	シンシナティ・ ミュージアム・アソ シエーション (オハ イオ)	シンシナティ美術館のアジア・コレクションを題材とし た教材作り及び教員向けワークショップの開催	07.07.01～ 07.09.30
4	日本のアート・文 化・社会に関する教 員向けワークショッ プ	アルバーノ大学 (ウイスコンシン)	日本文化 (アート、文化、文学、宗教など) を授業に取り 入れるための教員向けワークショップの開催	07.06.01～ 07.12.31
5	アジアを祝おう	マリボサ美術館 (ニューハンプ シャー)	日本に関する展示にあわせて、特に小中高生を対象とし た参加型の活動やプレゼンテーションを実施	08.02.01～ 08.06.30
6	世界へのパスポー ト：3年生に向けた 日本への旅	マディソン・クロ ス・ロード学校 (ア ラバマ)	200名の生徒たちが、1年間にわたって、日本の地理や言 葉、政治や日常生活を学ぶ事業	07.08.01～ 08.03.31
7	2007年秋：初等・中 等教育へのジャパ ン・アウトリーチ	ベサニー大学 (ウエ スト・バージニア)	地域の複数の学校において、太鼓パフォーマンス、折 り紙、書道等を通じた日本文化紹介事業を実施	07.09.01～ 07.11.30
8	日本文化ケースおよ び教育向けワーク ショップ	アメリロ美術館 (テ キサス)	日本を紹介するグッズを集めた「日本文化ケース」の作 成とケースを利用した教員向けワークショップの実施	07.08.15～ 07.12.31
9	歴史の織りの中で文 化を保存する：グ ローバリゼーション が日本社会に与えた 影響	ウエスタン・バー ジニア美術館 (バー ジニア)	日本の絵画展を通してグローバリゼーションが日本社会 に与えた影響を考察する教員向けワークショップの開催	07.11.01～ 07.12.31
10	日本とアイオワの生 徒のネットワークを 高めて	アイオワ公共テレビ /アイオワ公共放送 委員会 (アイオワ)	アイオワ州およびその近隣地域の小中高生を対象にイン ターネット・ビデオを通して日本文化紹介を行う事業	07.09.01～ 07.12.31
11	ライト・ナウ!	ウェスコット・ハウ ス財団 (オハイオ)	オハイオ州の複数の会場において、日本の伝統文化から 現代文化までを幅広く紹介する事業	07.09.01～ 07.10.31
12	日本の文化とアート に調和を探そう	クララ・バートン・ オープン学校 (ミネ ソタ)	地元のアーティストの協力を得つつ、アートに焦点をあ てた日本理解促進のための授業を通年で行う事業	07.10.01～ 08.06.30
13	太鼓および文化カプ セル・プロジェクト	ハリファックス郡公 立学校(バージニア)	太鼓パフォーマンスを通じた日本文化紹介を行い、そ れに付随して、コミュニティ向けに様々な日本文化に関す る参加型授業を実施	07.09.01～ 07.12.31
14	文化の橋渡し	アクロン大学 (オハ イオ)	美術館の教育担当者および教員を対象に日本理解を促進 するワークショップを実施	07.10.01～ 07.11.30
15	ミネソタ2007盆踊り	ミネソタ日米協会 (ミネソタ)	新しく創作したミネソタ式の盆踊りを通して、生徒に日 本文化紹介を行う事業	07.10.01～ 08.06.30

	事業名	団体	事業内容	期間
16	日本を五感でふれよう	マウント・ヴァーノン・コミュニティ学校 (バージニア)	日本の地理や人々、文化に関する授業を行い、プロジェクトの最後には学校全体を巻き込んだアジア太平洋祭りを実施	07.12.01～ 08.02.29
17	日本文化祭	リバーウッド高校 (ジョージア)	地域の住民にも開かれた日本文化／日本語を紹介する日本祭りの開催	08.01.01～ 08.03.31
18	日本2007:美・優雅・忍耐	ギフォード・ストリート高校 (イリノイ)	「ヒロシマ」の経験に焦点をあてた平和教育及び日本文化に関する授業の実施	08.03.01～ 08.07.31

催し等事業費	(3)市民交流・教育アウトリーチ支援 (助成) : ニューヨーク日米センター小規模助成 (教育助成)
--------	--

合計額 3,202,291円

	事業名	団体	事業内容	期間
1	ボストンこども博物館 (マサチューセッツ)	日本人コミュニティとのパートナーシップ: 美術館の文化プログラムをとおして	こども美術館学会における「日本人コミュニティと美術館とのパートナーシップ」に関する発表	07.05.01～ 08.07.31
2	プライマリー・ソース (メイン)	近代日本を想像する	日本の近代化をテーマとした教員向けワークショップの実施	07.09.01～ 07.12.31
3	ホノルル・フェスティバル財団 (ハワイ)	はじめのアメリカ人: ジョセフ・ヒコと日米関係のはじまり	初の日系アメリカ人とされるジョセフ・ヒコを通して日米関係を考察する公開セミナーの実施	07.12.20～ 08.04.30
4	ノースイースト・カルチュラル・コープ (ニューハンプシャー)	中学・高校教員向けワークショップ: 古代日本	3～15世紀の日本をテーマとした教員向けワークショップの実施	08.01.15～ 08.05.31
5	ワシントンDC日米協会 (ワシントンDC)	紙芝居をとおして日本を学ぶ	大判の紙芝居を作成し、1年間で3000人以上の生徒に日本文化紹介を行う事業	07.06.01～ 07.08.31
6	ワシントンDC日米協会 (ワシントンDC)	山下泰裕氏による学校訪問とレクチャー	柔道家の山下泰裕氏による柔道のデモンストレーションと柔道を通じた日本文化紹介を実施	08.02.01～ 08.03.31
7	米国北東部日本語教師会 (ニューヨーク)	春祭り	ニューヨーク地域の中高生を対象に、日本の様々な文化を紹介する春祭りの実施	08.03.01～ 08.05.31
8	アジア・シネビジョン (ニューヨーク)	TOKKO-特攻- : 教育用上映会	ドキュメンタリー映画「TOKKO-特攻」の上映会および元特攻隊員とのディスカッションを教員ワークショップおよび複数の学校で実施	08.03.01～ 08.05.31